

8月8日(木)、9日(金)の2日間、ウインクあいちにて、小学校学校行事研究全国大会を行いました。8日には文科省 教科調査官 安部恭子先生から、全国の実践例を挙げ、学校行事の意義についての講演がありました。9日は6つの分科会に分かれ、実践発表・協議を行いました。今回の「特活だより」では、各分科会で発表された名古屋の実践を紹介します。



小学校学校行事研究全国大会を終えて

名古屋市学校教育研究会
特別活動研究部会 会長
西川 辰彦

本年度は、名古屋で小学校学校行事研究全国大会が開かれました。足かけ3年に及ぶ準備期間を経て、大会を企画・運営してきました。

そして迎えた大会当日、多くの参加者を全国から迎えました。分科会での研究発表に携わった先生方、大会の運営に携わっていただいた先生方の「特活の精神」にあふれる対応で、参加していただいた全国の先生方から、「名古屋の先生方の笑顔が素晴らしい」「名古屋の研究が大変参考になった」などたくさんのお褒めの言葉をいただきました。学校行事の大切さを再確認した2日間となったとともに、「なごやとっかつ」の研究に対する実力を発信できたのではないかと思います。

最後になりましたが、名古屋市内の学校の先生方にも多数参加していただき、大会を盛り上げていただいたことに感謝いたします。ありがとうございました。

今後の予定

特別活動を学び合おうⅡ

日時：10月17日(木)
場所：教育館
内容：話し合い活動のビデオを視聴し、話し合います。
学級活動の進め方でお困りの先生や特別活動について学びたい先生は、ぜひご参加ください。

特別活動研究協議会

日時：1月29日(水)
場所：熱田文化小劇場
内容：「豊かな人間性を育てる特別活動」をテーマに発表を行います。

第1分科会<年間指導計画と評価>

みんなで認め合い、高め合う
学校行事の年間指導計画・評価
～異学年の仲間と「触れ合う」活動を通して～

縦割り活動と学校行事を関連させ、異学年の児童同士が触れ合う活動に取り組むことで「みんなで認め合い、高め合うことができる児童」の育成を目指しました。

「作品展」



【異学年の共同製作】 【共同製作をペア鑑賞】

ポイント!!!

- ① 縦割り活動と学校行事を連動させる年間計画を設定したこと
- ② 学校行事の目標と学校教育重点目標の両方を意識した評価を設定したこと

第2分科会<儀式的行事>

一人一人が参画し、自己実現する喜びを実感する卒業式
～互いの関わり合いを深め、人々に感謝の気持ちを伝える「卒業プロジェクト」を通して～

「卒業プロジェクト」として、6年生の3学級が「学校」「下級生」「保護者」のいずれか一つを担当して、自分たちで「感謝の気持ちを伝えるための活動内容」を話し合い、実践しました。

「卒業プロジェクト」



【活動内容を共有】 【下級生との思い出集会】

ポイント!!!

- ① 目標や計画を話し合う学級活動で、他の学級からもアイデアをもらい、活動内容を学年全体で共有したこと
- ② 終了後の振り返り活動で、互いの頑張りを認め合い、卒業への思いを共有したこと

第3分科会<文化的行事>

学年目標の達成を目指して
みんなでつくり上げる学芸会
～児童が思いや考えを寄せ合い、「関わり合い」「生かし合う」活動を通して～

学年目標を基にした学芸会の学習過程に取り組むことで、「みんなでつくり上げる学芸会」を目指しました。

「学芸会」



【行動目標シート】 【アドバイスタイム】

ポイント!!!

- ① 「行動目標シート」を活用し、練習の成果を実感できたこと
- ② 「アドバイスタイム」を設定し、立ち位置やせりふの言い方を話し合い、協力して場面を作り上げたこと

第4分科会<健康安全・体育的行事>

自己の成長を果たすことができる運動会
～集団の中で個のよさを「生かし合う」活動を通して～

運動会に関わる一連の活動を通して、児童が学年や異学年集団の中で個のよさを生かし合うことで、「自己の成長を果たすことができる児童」の育成を目指しました。

「運動会」



【ペアで教え合い】 【係の責任を果たす】

ポイント!!!

- ① 個人の行動目標を設定し、振り返り活動を重視したこと
- ② 上学年が下学年に手本を示す機会を設定し自己有用感を味わせたこと
- ③ 高学年の児童が役割を担い、係としての責任を果たしたこと

第5分科会<遠足・集団宿泊的行事>

誰とでも仲良く、協力・信頼し合う
みんなの遠足
～異学年交流を核とした「触れ合う」活動を通して～

小規模校、大規模校の2校において、「仲良く、協力・信頼し合う遠足」を目指しました。学校の規模に関わらず、目的意識を共有することや目的に沿った計画・準備を進めることで、効果的な異学年交流となりました。

「ペア学年遠足」「縦割り遠足」



【手をつないで出発】 【じゃんけんビンゴ】

ポイント!!!

- ① 事前ガイダンスで「なぜ異学年で遠足に行くか」という目的意識を共有したこと
- ② 異学年交流の形態（ペア学年・縦割りグループ）のよさを生かしたこと

第6分科会<勤労生産・奉仕的行事>

児童が主体的に
取り組むことができる奉仕活動
～上学年と下学年が「関わり合う」ペア活動を通して～

奉仕活動「ひらピカ大作戦！」にペア活動を取り入れることで、上学年が計画を立て、下学年とともに活動するという関わりを通して、奉仕活動に主体的に取り組むことができる児童の育成を目指しました。

奉仕活動「ひらピカ大作戦！」



【役割分担をして側溝掃除】 【下学年から意見を聞く】

ポイント!!!

- ① 奉仕活動の計画を立てる段階的な指導を設定したこと
- ② 「計画シート」「振り返りカード」を活用して、目標や感想を共有したこと